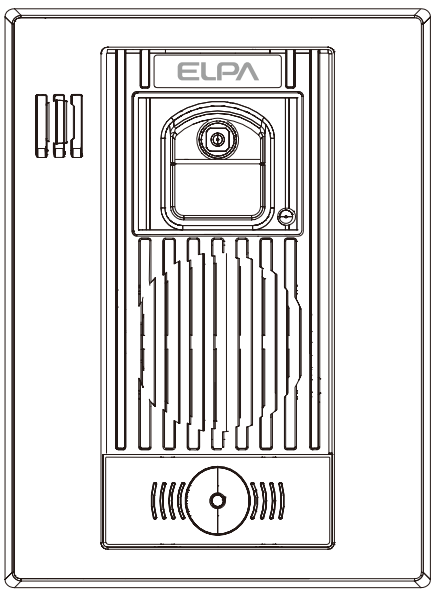
ELPA

WDP-100

取扱説明書
保証書付

ワイヤレス テレビドアホン

wireless
color monitor door phone



玄関カメラ
品番　WDP-C1

屋内モニター
品番　WDP-M1

お客様へのお願い

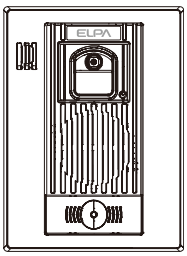
●このたびは、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。
●お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。
●保証書欄は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめください。

もくじ

■ はじめに …… 3
■ 安全上のご注意 …… 4
■ 使用上のお願い …… 7
■ 各部の名称
●玄関カメラ …… 10
●屋内モニター …… 11
●充電器 …… 11
●カラー液晶モニターの表示 …… 12
■玄関カメラの取付け
●取付位置(高さ)について …… 13
●玄関カメラの取付け …… 14
(乾電池を使用する場合)
●玄関カメラの取付け …… 16
(既設の配線を使用する場合)
■屋内モニターの充電と充電台の設置 … 18
●充電台を壁に取付けて使用する場合 … 20
■日付・時刻の設定 …… 21
■呼び出しに応答する …… 22
■ 屋内モニターの各種設定 …… 23
●画面の明るさを変える …… 23
●受話音量を変える …… 23
●呼出音の音量を変える …… 23
■ 玄関カメラ側の様子を見る …… 24
(モニター機能)
■ 録画する
●自動録画 …… 25
●録画枚数の変更 …… 25
●マニュアル録画 …… 25
■ 画像を再生する …… 26
●画像の消去 …… 26
■ その他の機能
●夜間補助光について(玄関カメラ) …… 27
●玄関カメラと屋内モニターの登録 …… 27
●展示モードについて …… 27
■ 電池パックを交換する …… 28
■ お手入れ …… 29
■ 故障かなと思ったら …… 30
■ 仕様 …… 32

はじめに

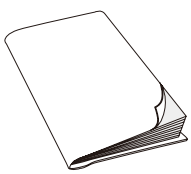
ワイヤレステレビドアホン WDP-100の構成

外　　観		
名　　称	玄関カメラ	屋内モニター
品　　番	WDP-C1	WDP-M1

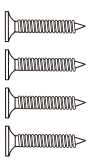
付属品

以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

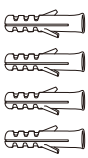
■取扱説明書 ……1冊



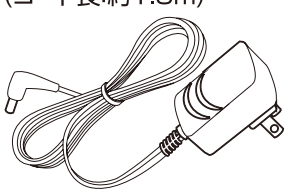
■取付け用木ねじ ……4本



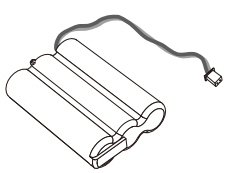
■コンクリート用スリーブ ……4本



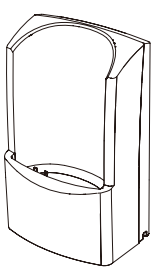
■ACアダプター ……1個
(コード長:約1.8m)



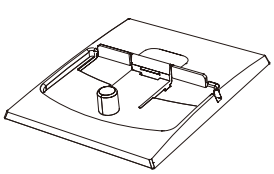
■電池パック(ニッケル水素充電池) ……1個



■充電台 ……1個



■充電台スタンド ……1個



安全上のご注意

ー 必ずお守りください ー

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■次の図記号は表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ **危険**	人が死亡したり重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■次の図記号はお守りいただく内容の種類を次のように区分し、説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

電池パック(ニッケル水素電池)について

禁止

■指定の電池パック以外は使用しない

■分解･改造しない

■加熱したり、火の中に入れない

■付属の電池パックをこの屋内モニター以外には使用しない

■プラス(+)、マイナス(−)端子を金属などに接触させない

■ネックレス、ヘアピンなどの金属と一緒に持ち運んだり保管しない

禁止

■電池の液に触れたり、目に入れない。目に入ると、失明するおそれがあります。目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■充電するときは専用の充電台とACアダプターを使用する

⚠ 警告

分解禁止

■分解･修理･改造しない

火災や感電の原因となります。
修理は販売店へご相談ください。

禁止

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

火災や感電の原因となります。金属物が入ったり、ぬれたりした場合はすぐにACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

禁止

■交流100V以外の電源電圧で使用しない

発熱による火災の原因となります。

禁止

■ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。
また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。

コードが破損し、火災や感電の原因となります。

禁止

■たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

発熱による火災の原因となります。

接触禁止

■ぬれた手でACアダプターの抜き差しをしない

感電の原因となります。

禁止

■指定以外の機器は接続しない

火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜く

■煙が出たり、変なにおいがしたときはACアダプターを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

■雷が鳴ったら本体やACアダプターに触れない

感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

次のような場所や条件で使用しない

本機からの電波が影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

●病院内で使用が禁止された場所や医療機器の近く(手術室、集中治療室、CCUなど)
※CCU…冠状動脈疾患監視病室

●自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く

●心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置

■ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

■ACアダプターのほこりは乾いた布で定期的にとる

プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止

湿気や湯気、ほこりの多い場所や油や薬品がかかる恐れのある場所では使用しない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

不安定な場所や振動の多い場所では使用しない

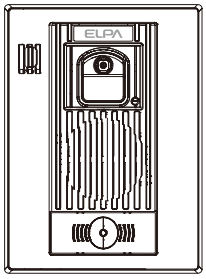
落下により、ケガや機器が損傷することがあります。

禁止

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因となることがあります。

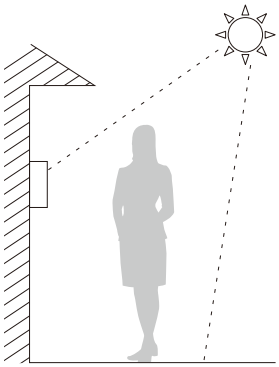
玄関カメラは次のような場所には設置しないでください



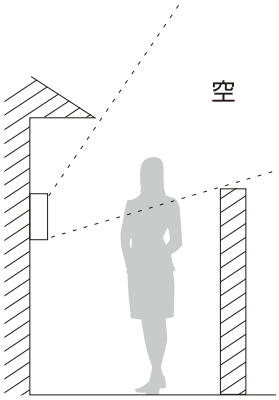
●不安定な場所や振動、衝撃のあるところ(故障や通話不良の原因)
●鉄粉、ほこり、酸、アンモニア、硫黄、りん、硫化水素、有毒ガスなどの発生するところ(故障の原因)
●背面に水などが直接かかるところ(故障の原因)
●反響の多いところ(通話不良の原因)

玄関カメラに直接日光(太陽光)をあてないでください。また、逆光になるところでは来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなることがあります。次のような場所への設置は避けてください。

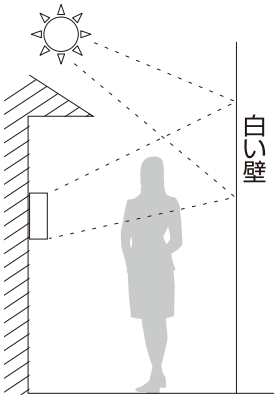
●直射日光や強い光があたる場所



●背景に空の占める割合の大きい場所



●正面に白い壁など光が反射しやすい材質の壁がある場所



使用上のお願い

屋内モニターは次のような場所には設置しないでください。

●火気・調理器具の近く(変形や故障の原因)
●直射日光のあたるところ・冷暖房機の正面・冷凍倉庫内
(誤動作・変形・故障の原因)
●温度変化が激しいところ(結露による誤動作の原因)

[お願い]
寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、しばらく放置してから接続、
使用してください。

屋内モニターは電波の干渉による影響を防止するために次のような機器から離して使用してください。(目安:約3m以上)

●電子レンジ
●無線LAN機器(ルーター・AV機器・防犯機器など)
●ワイヤレスAV機器(テレビ・ステレオ・パソコン)
●インバーター電気機器

その他、下記の機器でも近くで使用すると、本機やその機器の動作に影響が出る場合があります。
これらの機器も上記と同様に離して使用してください。

●ゲーム機のワイヤレスコントローラー
●デジタルコードレス電話機/ファックス
●火災報知機
●アマチュア無線局
●自動ドア
●万引き防止システム
●工場や倉庫などの物流管理システム
●鉄道車両や緊急車両の識別システム
●マイクロ波治療器
●その他Bluetooth対応機器やVICS(道路交通情報通信システム)など
●他のワイヤレスインターホンやワイヤレステレビドアホンなど

屋内モニターと玄関カメラの間に障害物がない場合は見通し距離約100m以内で使用できますが、次のような場合は電波が届きにくくなり、通話が途切れたり、映像が乱れたりして使用できない場合があります。

●玄関カメラと屋内モニターの間に壁が何枚もある場合
●鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
●屋内モニターと玄関カメラが別の階や別の建物にある場合
●屋内モニターと玄関カメラの間に次のような障害物がある場合
コンクリートの壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、金属箔が含まれる断熱材、
金属製の家具など

電波について

●本機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備で、変調方式は「GFSK方式」です。
●本機の使用周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1.本機を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、設置場所の移動を行い、お互いに干渉が起きないようにしてください。

本機の利用方法、映像の取り扱いに関して

●本機の設置や利用、記録された映像の取り扱いに関してはご利用になるお客様の責任で行ってください。弊社はこれらについて発生したいかなる問題に関して一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

その他

●分解・改造することは法律で禁じられています。
(故障の際は、お買い上げの販売店へご相談ください。)
●いかなる場合においても、一切の工事費用はお客様のご負担となります。
●取扱説明書にしたがわず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●使用を中止するときは万一の落下防止のため、屋外モニターと玄関カメラを壁から取り外してください。

本機を廃棄、譲渡するとき

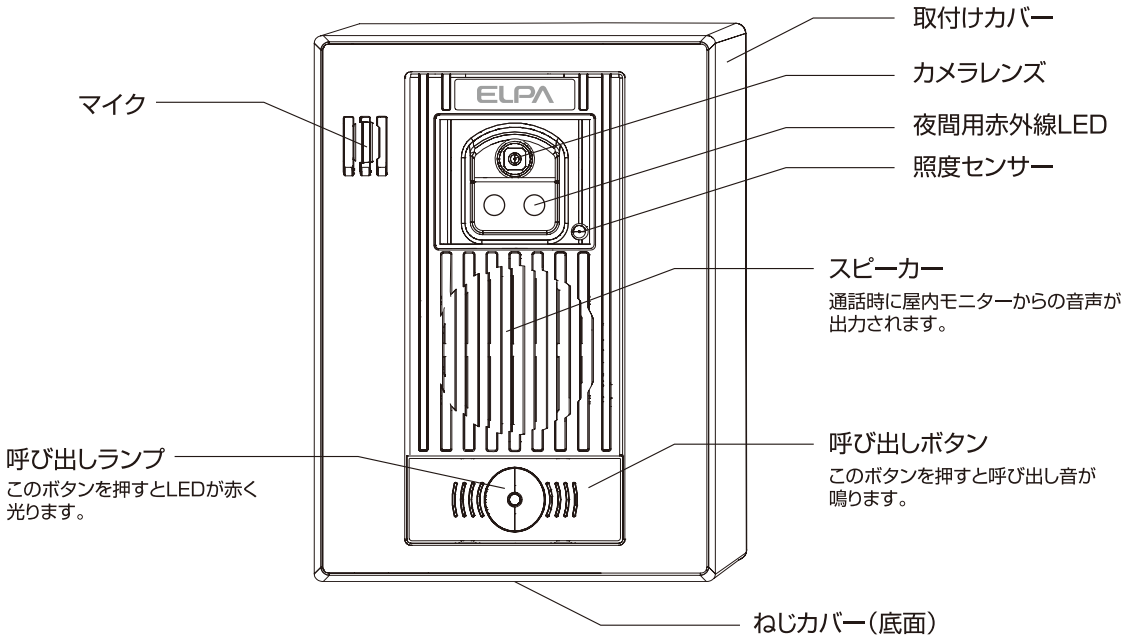
●お客様固有の情報の流出による不測の損害などを回避するために、録画した情報は消去してください。

録画した画像の消去　⇒　26ページをご覧ください。

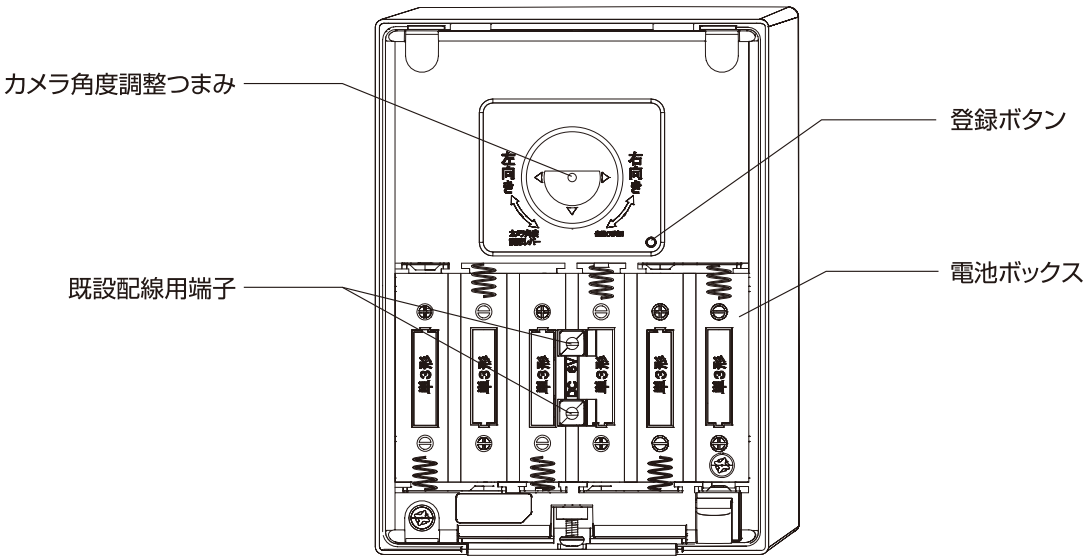
各部の名称

玄関カメラ

■正面

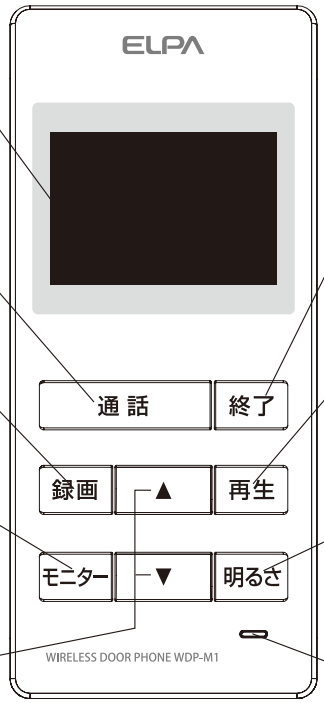


■背面(図は取付けカバーをはずした状態です)



屋内モニター

■正面



液晶画面
(カラー液晶モニター)

【通話】ボタン
通話を開始するときに使用します。

【録画】ボタン
画面に表示されている映像を手動で録画します。

【モニター】ボタン
玄関カメラ側の様子を確認するときに使用します。

【▲】/【▼】ボタン
音量調節、日時設定、再生画像の選択などをおこないます。

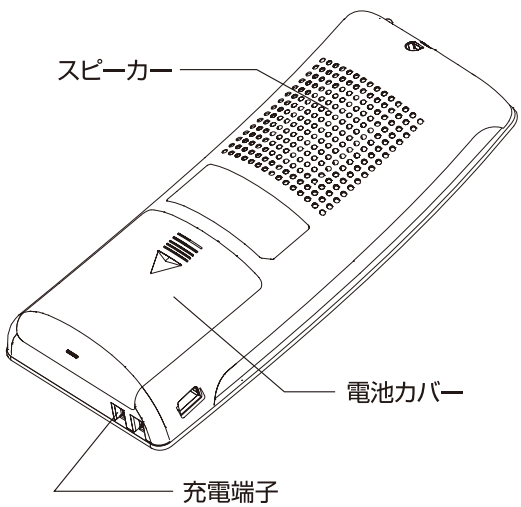
【終了】ボタン/充電ランプ
通話を終了するときや操作を途中でやめるときに使用します。
※充電中は赤色に点灯します。
充電が完了すると消灯します。

【再生】ボタン/日時設定ボタン
録画した画像を再生するときに使用します。
※約3秒間押すと、日時設定画面を表示します。

【明るさ】ボタン
画面の明るさを調整します。

マイク

■背面



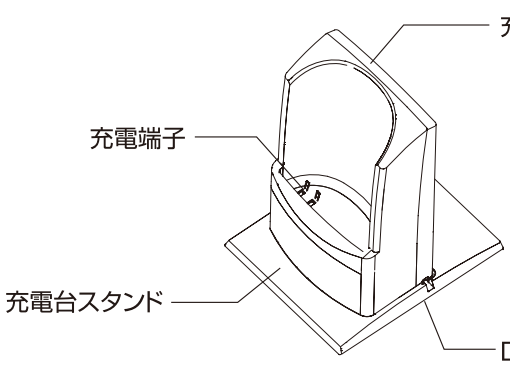
※買い上げ時は電池パックが装着されていません。
まず初めに電池パックを装着のうえ充電してからご使用ください。(⇒詳しくは18ページをご覧ください。)

注意

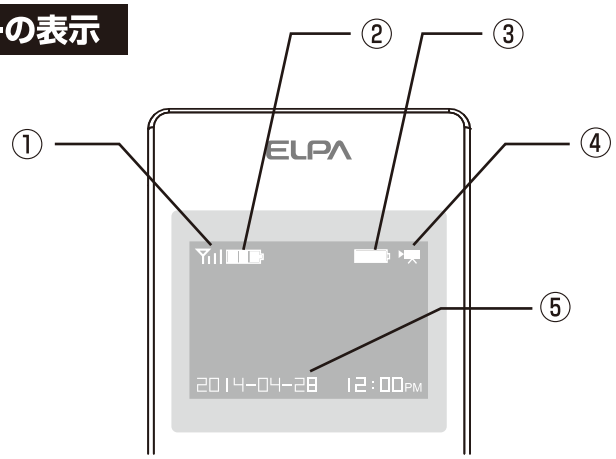
モニター画面の映像について

- ●玄関カメラが逆光になると、来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります。
- ●画面の映像は昼間など玄関カメラの周囲が明るいときはカラー表示されますが、夜間など暗いときは白黒となります。

充電器

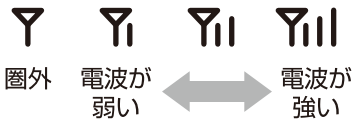


カラー液晶モニターの表示



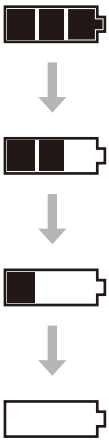
①電波強度表示

通信中に電波の状態を表示します。



②屋内モニター電池残量表示

屋内モニターの電池残量のめやすを表示します。
残量が約30%以下になったら充電してください。



残量　約100%

残量　約60%

残量　約30%
※充電してください

残量　なし

約6時間充電(満充電)した後の使用時間のめやす
(使用環境温度:20℃のとき)

・連続使用時間:約2時間
・連続待受時間:約120時間

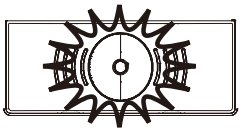
③玄関カメラ電池残量表示

玄関カメラを乾電池で動作させているときに
乾電池の電池残量の目安を表示します。
※この表示は通話中やモニター中など玄関カメラと
通信しているときのみ、画面右上に表示されます。

玄関カメラの電池寿命のめやす

・1日3回、1回の通話時間が
約10秒とした場合:約6ヶ月
(気温21℃の場合)

玄関カメラの電池残量が
低下しているときは玄関
カメラの呼び出しランプ
も同時に点滅しお知らせ
します。



④登録表示

玄関カメラと屋内モニターが互いに登録されている
ときに表示されます。
表示されない場合は27ページの「玄関カメラと屋内
モニターの登録設定」をおこなってください。

⑤日時・時刻表示

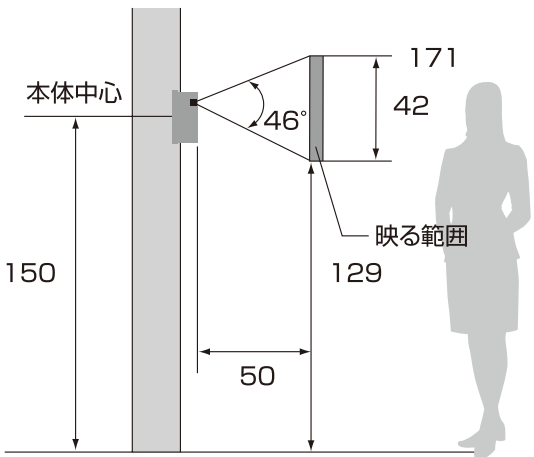
設定した日時と時刻が表示されます。
録画した画像を再生しているときは、録画された
日時と時刻を表示します。
※この表示は通話中およびモニター中は表示されま
せん。

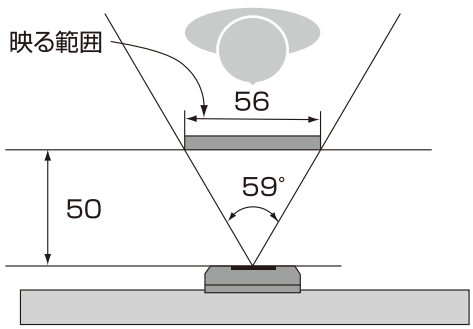
玄関カメラの取付け

取付け位置(高さ)について

次の図を参考にして取付けをおこなってください。

●標準位置(本体取付け高さ150cm)に設置するとき
カメラ角度正面向き0°(お買上げ時の状態)の場合

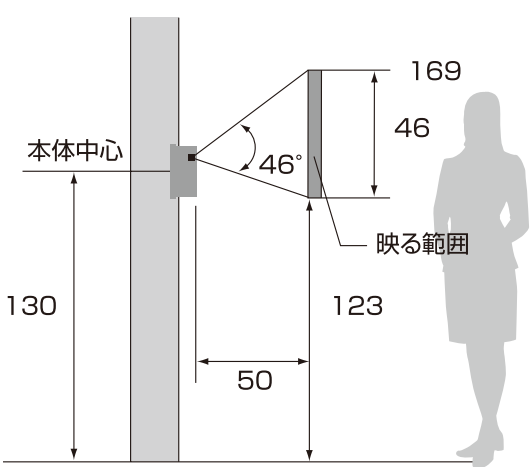




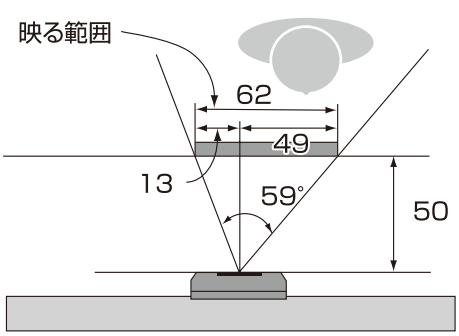
(単位:cm)

標準位置より低い位置や左または右に離れた位置に設置するときは
玄関カメラの角度調整つまみで映る範囲を調整してください。
詳しくは15ページをご覧ください。

●本体取付け高さを130cmに設置するとき
(例)カメラ角度上向き15°に設定した場合



●正面より左または右に離れた位置に設置するとき
(例)カメラ角度左向き15°に設定した場合



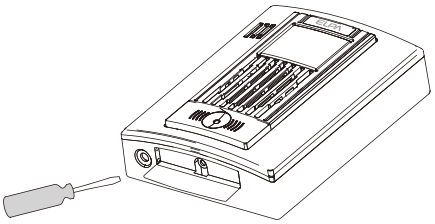
(単位:cm)

※映る範囲の大きさは玄関カメラから約50cm離れた場合のめやすの数値です。

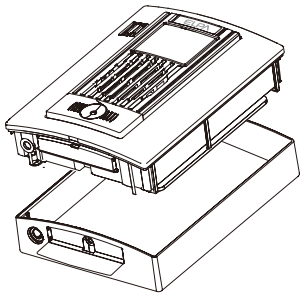
玄関カメラの取付け(乾電池を使用する場合)

設置する前に「通話」または「モニター」で電波の状況(音が途切れないか、画像が乱れないか)が問題ないことを確認してから設置してください。

1 取付けカバーを外す



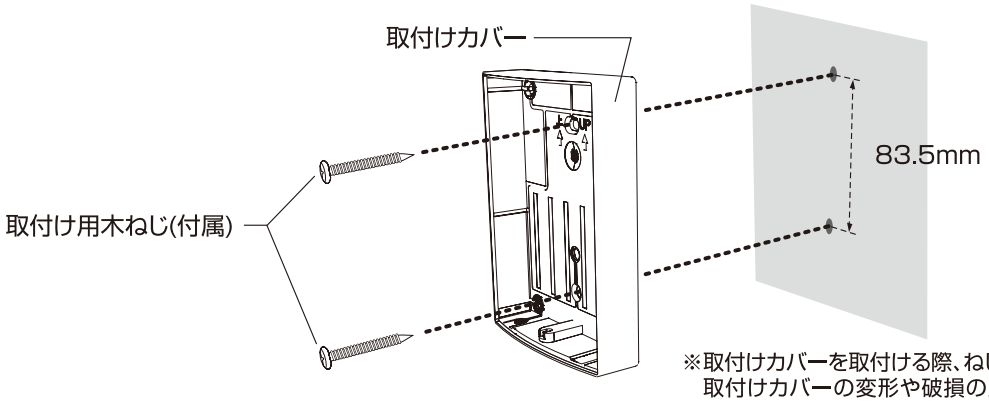
①マイナスドライバーでねじカバーを開け、中のねじを緩めます。



②玄関カメラ本体から取付けカバーを外します。

2 取付けカバーを壁面に取付ける

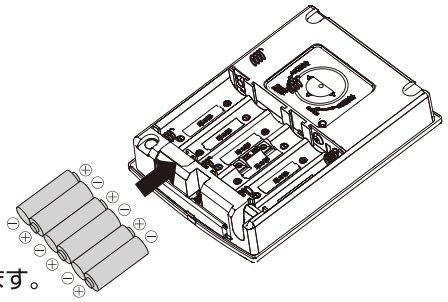
地面に対して垂直で平らな壁にねじ穴をあけて取付けてください。



※取付けカバーを取付ける際、ねじを締めつけすぎると取付けカバーの変形や破損の原因となりますので、ご注意ください。

3 乾電池を入れる

背面の電池ボックスに新品の単三形アルカリ乾電池(別売)6本を+と−を確認のうえ、正しく入れてください。



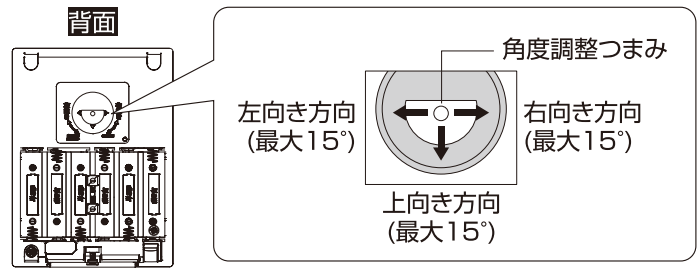
※電源が供給されると玄関カメラ側でチャイムが一度鳴ります。

注意

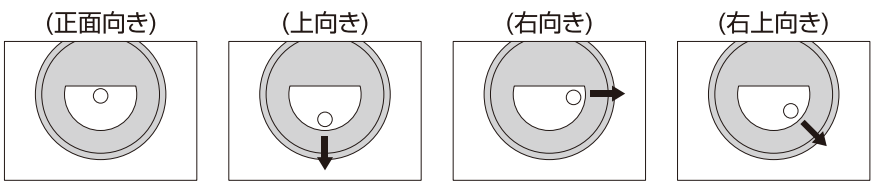
指定以外の乾電池は使用しないでください。また、古いものと新しいものの混用やアルカリ乾電池とマンガン乾電池の混用はしないでください。液もれや発熱による故障の原因となります。
充電式電池では正しく動作しません。必ず指定の乾電池を使用してください。

4 カメラの方向を調整する

最大15°の範囲内で自由に角度を調整できます。



角度調整つまみの調整例



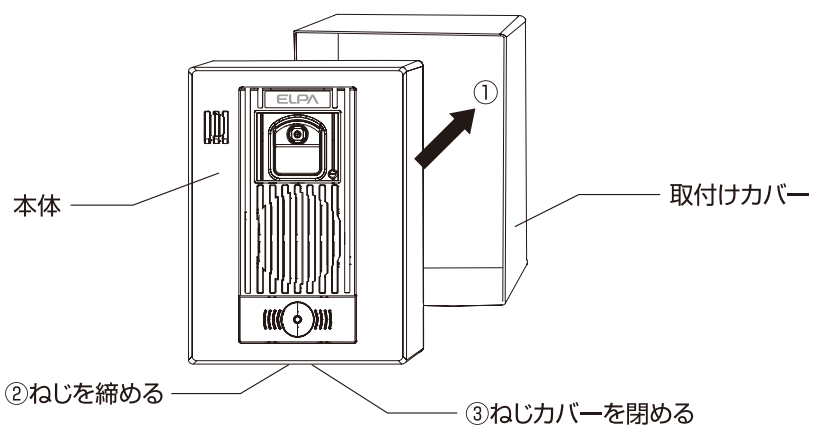
※左向き、左上向きにも調整できます。

注意

カメラのレンズを「左上向き」または「右上向き」に設定すると、画像がひずむことがあります。

5 本体を固定する

壁に取付けた取付けカバーに本体をはめ込み、底面のねじを締めて固定してください。
最後にねじカバーをしっかり閉めてください。



玄関カメラの取付け(既設の配線を使用する場合)

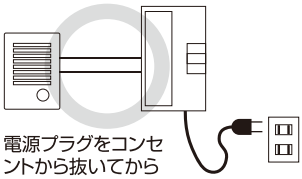
既設の配線を使用して玄関カメラと屋内モニターの充電台とを接続することで乾電池を使用せず、玄関カメラに電源を供給することができます。

●必ず充電台のACアダプターをコンセントから抜いて作業をおこなってください。
●充電台と配線してお使いになる場合は、玄関カメラに乾電池は使用しないでください。

既設配線を使用する場合のご注意 まず初めにお確かめください

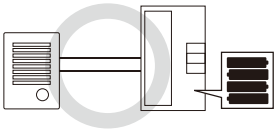
■使用できるもの

[電源プラグ式]
のインターホンなど



電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。

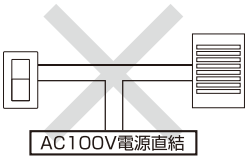
[乾電池式]
のインターホン・チャイムなど



■使用できないもの

[電源プラグ式][乾電池式]以外のもの

電源直結式、ホームテレホン、熱感知器などと連動しているもの



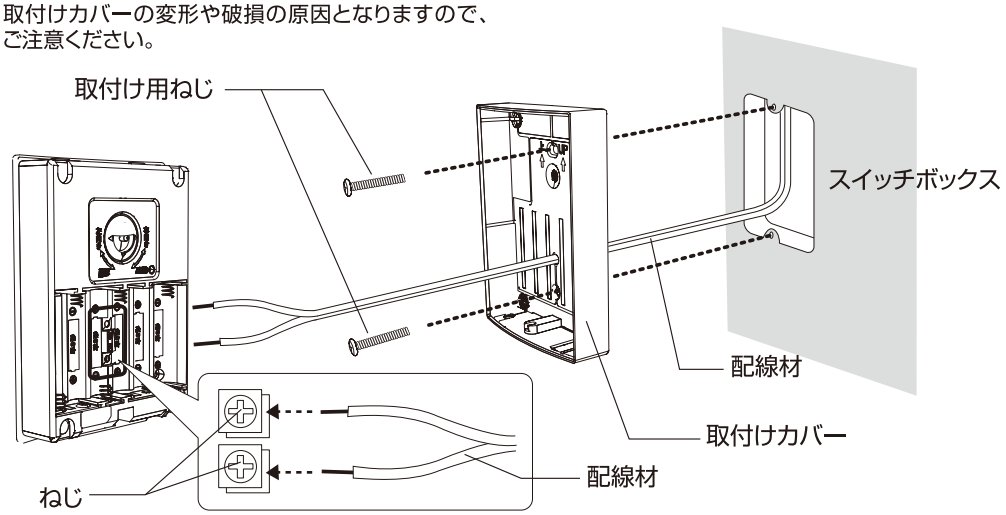
感電の危険、また故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。

1 取付けカバーを外す

14ページをご覧ください。

2 取付けカバーをスイッチボックスに取付ける

※取付けカバーを取付ける際、ねじを締めつけすぎると取付けカバーの変形や破損の原因となりますので、ご注意ください。



本体背面の電池ケースのねじ(2ヶ所)をゆるめて配線材を差し込み、ねじを締めて、配線材を固定してください。

3 本体を取付けカバーにはめ込んで、固定する

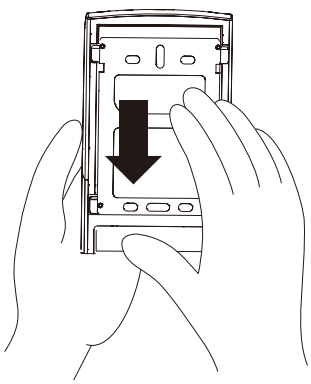
15ページをご覧ください。

4 カメラの方向を調節する

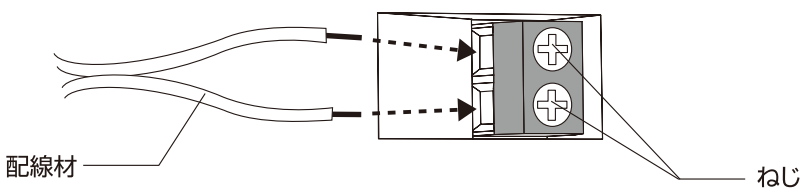
15ページをご覧ください。

5 充電台背面の取付けプレートを外す

取付けプレートは図のように持ち、下方向に下げると簡単に外すことができます。

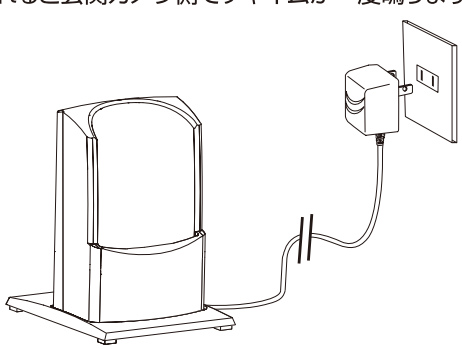


充電台背面の端子部に玄関カメラに接続した既設の配線材のもう一方を接続します。



6 充電台の電源を入れる

電源が供給されます。
※電源が供給されると玄関カメラ側でチャイムが一度鳴ります。



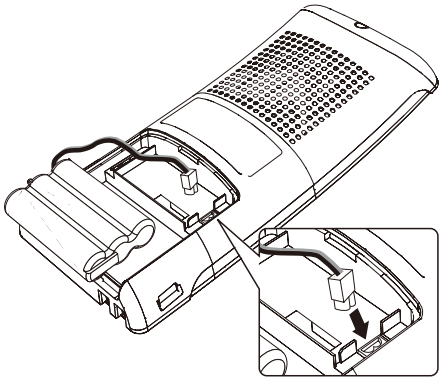
屋内モニターの充電と充電台の設置

屋内モニターは必ず電池パック(付属)を装着して、充電台で充電してから使用してください。

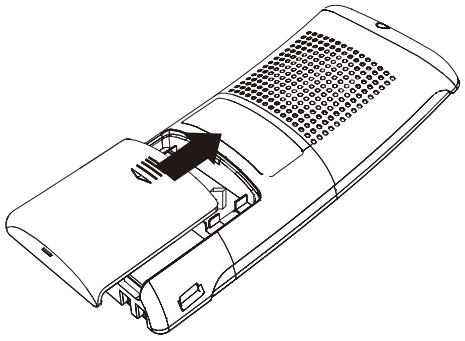
1 屋内モニターに電池パックを装着する

> **注意**
> ご購入時は屋内モニターには
> 電池パックが装着されていません。

①屋内モニターの電池カバーを下方向にスライドさせて開け、電池パック(付属)のコネクターを図のように差し込みます。



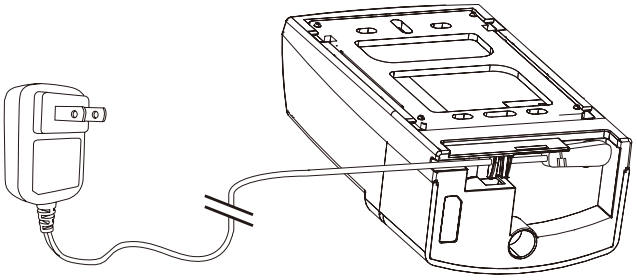
②電池パックが装着できたら電池カバーを閉めてください。



> **注意**
> 電池カバー裏面のスポンジは
> はがさないでください。

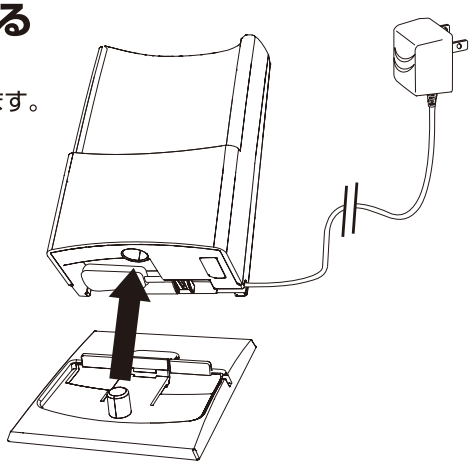
2 充電台にACアダプターを接続する

ACアダプターのプラグを充電台のジャックにしっかり差し込み、コードを図のように通してください。



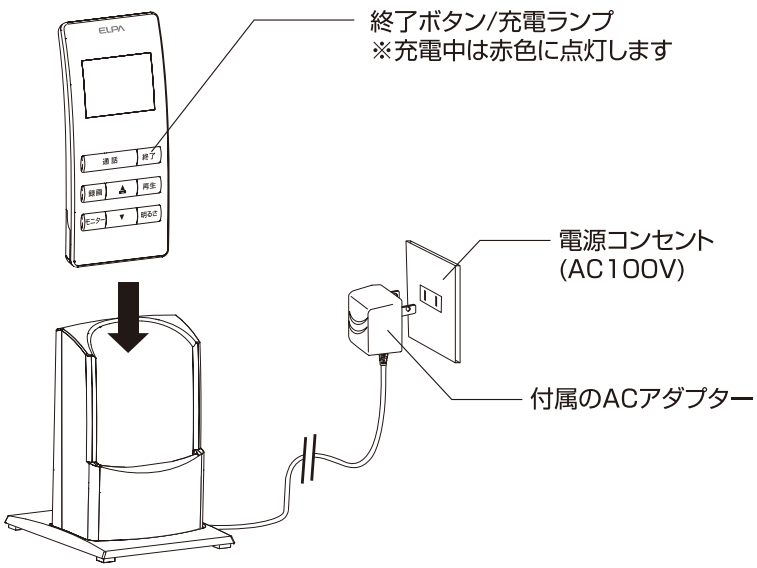
3 充電台を充電台スタンドにセットする

充電台スタンドの突起を充電台の穴に差し込み固定します。



4 屋内モニターを充電する

ACアダプターを電源コンセントに差し込み、屋内モニターを充電台にセットすると充電が始まります。このとき【終了】ボタンが赤色に点灯(充電ランプ)して充電中であることを示します。充電は最長で6時間で終了します。



注意

充電の途中で屋内モニターを使用すると、充電時間が長くなります。
充電が完了した後に屋内モニターを使用しないままでも、一定量以上は充電されず支障なく使用できます。

お願い

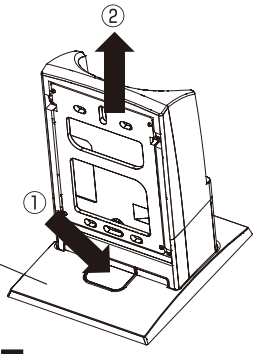
・充電端子が汚れたときは乾いた布でふいてください。
・一週間以上屋内モニターを充電台から外したり、ACアダプターを抜くときは電池パックを外してください。(これは電池パックの性能維持と電池の消耗を防ぐためです)
・使用を再開するときは再度この手順で充電してからご使用ください。

充電台を壁に取付けて使用する場合

設置する前に「通話」または「モニター」で電波の状況(音が途切れないか、画像が乱れないか)が問題ないことを確認してから設置してください。

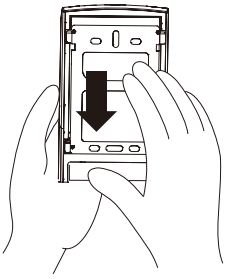
1 充電台スタンドを取り外す

充電台に充電台スタンドを取付けている場合は充電台スタンドを外してください。①の部分を押さえながら②充電台を上へ持ち上げると簡単に取り外すことができます。

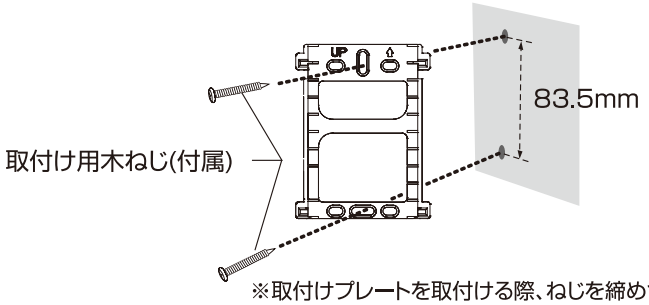


2 充電台背面の取付けプレートを壁面に取り付ける

①充電台から取付けプレートを取り外す。



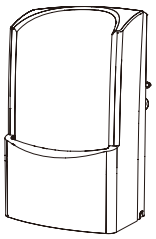
②取付けプレートを壁に取付ける。



※取付けプレートを取付ける際、ねじを締めつけすぎると取付けプレートの変形や破損の原因となりますので、ご注意ください。

3 充電台と取付ける

壁に取付けたプレートに充電台をひっかけて、「カチッ」と音がするまで押し下げ固定します。



注意

壁掛けにするときは落下しないようにしっかりと取付けてください。

落下による、破損やけがの原因となることがありますので、以下のように強度の保てない場所への取付けはしないでください。

石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18mm以下のベニヤ板など

日時・時刻の設定

屋内モニターには録画機能が搭載されています。この設定をおこなうと録画した画像を再生するときに録画した日時を確認することができます。

1 「年」の設定

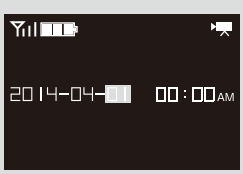
【再生】ボタンを3秒間押すと、画面中央に年・月・日・時間(お買上げ時の設定)が表示され、「年」の下2ケタ部分が緑色に選択され、変更できることを示します。【▲】【▼】ボタンで「年」を選択します。
選択したら【再生】ボタンを押します。

2 「月」の設定

緑の部分が「月」の位置に移動し、変更ができることを示します。
【▲】【▼】ボタンで「月」を選択します。
選択したら【再生】ボタンを押します。

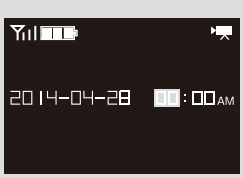
3 「日」の設定

緑の部分が「日」の位置に移動し、変更ができることを示します。
【▲】【▼】ボタンで「日」を選択します。
選択したら【再生】ボタンを押します。



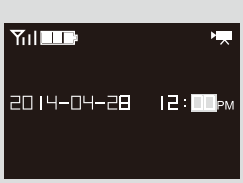
4 「時」の設定

緑の部分が「時」の位置に移動し、変更ができることを示します。
【▲】【▼】ボタンで「時」を選択します。
選択したら【再生】ボタンを押します。



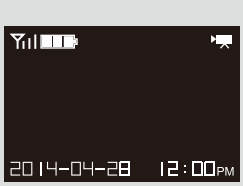
5 「分」の設定

緑の部分が「分」の位置に移動し、変更ができることを示します。
【▲】【▼】ボタンで「分」を選択します。
設定を確認して最後に【終了】ボタンを押します。



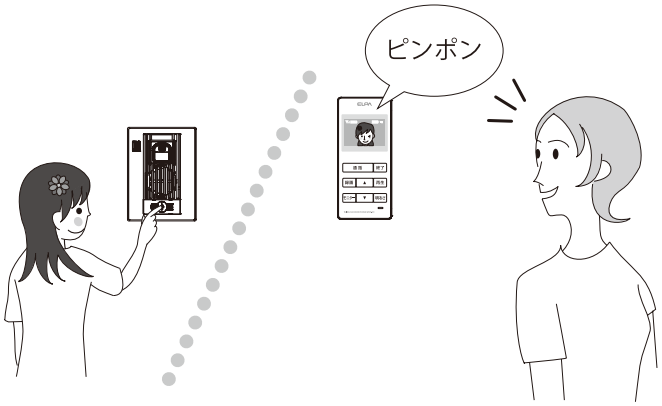
6 設定完了

設定完了後は、画面下に現在の日時・時刻が表示されます。

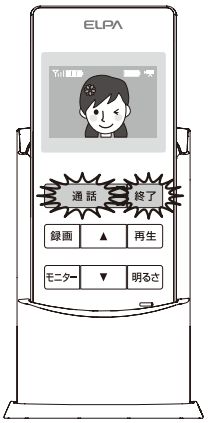


※設定中にいずれの操作もない状態が約30秒つづくと自動的に設定は解除され待ち受け画面に戻ります。
※①～⑤の設定途中でも【終了】ボタンを押すと、それまでに選択した内容で登録が更新されます。

呼び出しに応答する



1 玄関カメラからの呼び出し



玄関カメラから呼び出しがあると、呼び出し音が鳴り、画面に玄関カメラの映像が表示されます。最初の約10秒間は動画が表示され、その後約140秒間は静止画像に切り替わります。呼び出し中は【通話】ボタンと【終了】ボタンがそれぞれ緑色と赤色に点滅します。

2 応答する

玄関カメラからの呼び出しに応答する(相手と話す)ときは呼び出し音が鳴ってから約150秒以内に【通話】ボタンを押します。
画面が動画に切り替わり玄関カメラ側の相手と約60秒間まで連続で通話できます。

3 終了する

通話を終了するときは【終了】ボタンを押します。

呼び出し音から約150秒以内に応答しなかった場合(留守時など)、【再生】ボタンが赤色に点滅し、訪問があったことをお知らせします。
また、訪問時の玄関カメラ側の画像が自動的に録画されます。(自動録画機能)
詳しくは25ページをご覧ください。

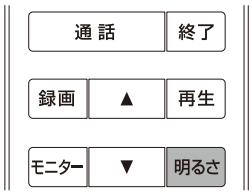
お知らせ

●切り忘れによる電池の消耗を防止するため、通話は最長約60秒で自動的に終了します。続けて通話する場合は再度【通話】ボタンを押してください。

屋内モニターの各種設定

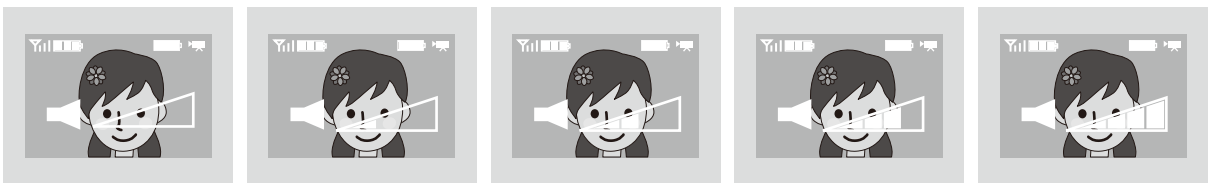
画面の明るさを変える

通話中に【明るさ】ボタンを押すと、5段階でモニター画面の明るさを変更できます。



受話音量を変える

通話中に【▲】【▼】ボタンを押すと、無音から5段階で受話音量を調整できます。【▲】を押すと音量が大きくなり、【▼】を押すと音量が小さくなります。



レベル1(無音)　レベル2　レベル3　レベル4　レベル5(最大)

お買上げ時はレベル5に設定されています。

呼出音の音量を変える

待ち受け中に【▲】【▼】ボタンを押すと、無音から5段階で呼出音量を調整できます。【▲】を押すと音量が大きくなり、【▼】を押すと音量が小さくなります。

レベル1(無音)　レベル2　レベル3　レベル4　レベル5(最大)

お買上げ時はレベル5に設定されています。

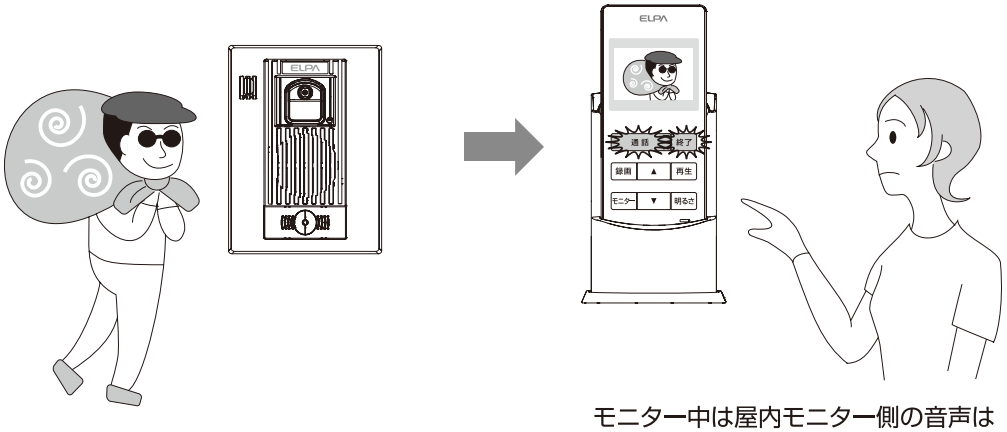
玄関カメラ側の様子を見る(モニター機能)

必要に応じて、屋内モニターから玄関カメラ側の様子を確認(モニター)することができます。

1 モニターを開始する

待ち受け中に屋内モニターの【モニター】ボタンを押すと玄関カメラが起動し、玄関カメラ側の様子(映像と音声)を確認することができます。このとき【通話】【終了】ボタンが点滅します。

モニター中に玄関カメラ側の相手と通話する場合は【通話】ボタンを押してください。



モニター中は屋内モニター側の音声は
玄関カメラ側には聞こえません。

2 モニターを終了する

モニターを終了するときは【終了】ボタンを押します。

注意

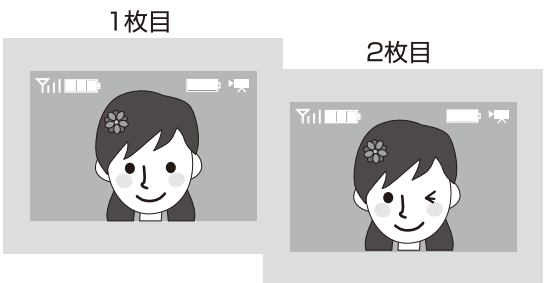
- 切り忘れによる電池の消耗を防止するため、モニターは最長約60秒で自動的に終了します。続けてモニターする場合は再度【モニター】ボタンを押してください。
- 玄関カメラが待機状態から復帰するため、【モニター】ボタンを押してから映像が再生されるまで最長で約4秒かかる場合があります。

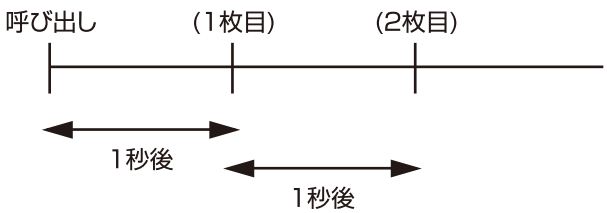
録画する

屋内モニターは最大164枚の静止画を録画することができます。

自動録画

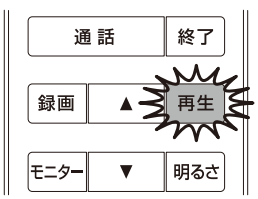
呼び出しから1秒後と2秒後の2回、自動的に静止画像を録画します。(お買上げ時の設定)
録画枚数が164枚を超えると、古い画像から自動的に削除され、新しい画像が録画されます。





お知らせ

呼び出しに応答しなかったときは未応答画像となり、
【再生】ボタンが点滅してお知らせします。



録画枚数の変更

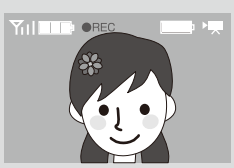
待ち受け中に【録画】ボタンを約3秒間押すと、画面に録画枚数選択が表示されます。

録画枚数を1枚、2枚、3枚のいずれにするか【▲】【▼】ボタンで選択します。
選択後、【終了】ボタンを押すと変更が設定されます。

●録画のタイミング
録画枚数を1枚に設定した場合、呼び出しから1秒後に1枚録画されます。
録画枚数を3枚に設定した場合、呼び出し1秒後から1秒毎に3枚録画されます。

マニュアル録画

玄関カメラとの通話中やモニター中の映像を必要に応じて1枚録画できます。



手動で録画するときは通話中またはモニター中に【録画】ボタンを押します。
画面左上に「●REC」と表示され1枚録画されます。

画像を再生する

【再生】ボタンが点滅しているときは未再生の画像があります。次の手順で再生してください。すでに再生した画像も同じ手順で再生できます。

1 再生する

【再生】ボタンを押すと最新の画像が表示されます。また【▼】を押すたびに新しい画像が表示され、【▲】を押すたびに古い画像が表示されます。

※画面には撮影された日時が表示されます。

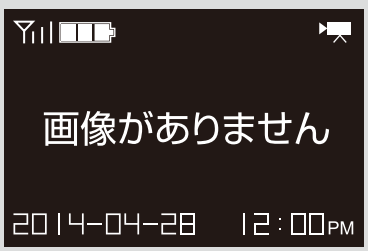
2 再生を終了する

【終了】ボタンを押すと再生を終了します。
再生中に【明るさ】ボタンを押すと画面の明るさを変更できます。

画像の消去

録画されている画像を全て消去するには【終了】ボタンと【録画】ボタンを同時に5秒間押します。音がピピピピピと鳴り、「画像がありません」と画面に表示され消去が完了します。

※画像を個別に消去することはできません。
※一度消去した画像は元に戻せませんのでご注意ください。

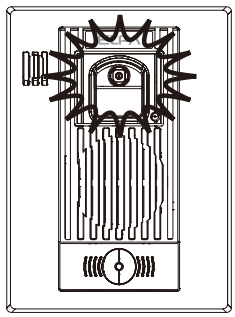


その他の機能

夜間補助光について(玄関カメラ)

夜間は映像を見やすくするため、赤外線LEDの補助光が点灯します。(赤外線は目で見えない光です。)また、夜間のモニター映像や夜間に録画された画像は白黒表示となります。(暗視モード)

※昼夜に関わらず、玄関カメラの周囲が暗い場合、暗視モードに切り替わり白黒表示となります。



玄関カメラと屋内モニターの登録

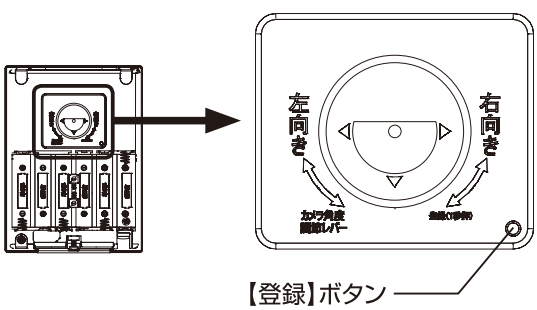
本機は玄関カメラと屋内モニター間で通話できるよう登録する必要があります。

お買上げ時は既に登録済みとなり、登録は不要ですが、屋内モニター、玄関カメラのいずれかを交換したときは玄関カメラと屋内モニターの登録をおこなってから使用してください。

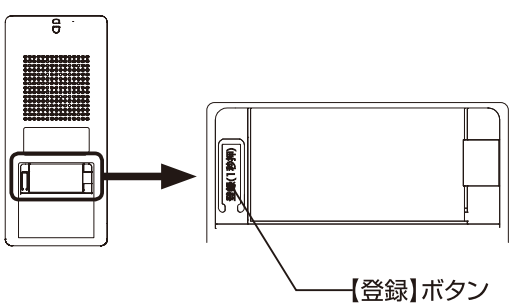
[登録方法]
1.登録開始モードにする
玄関カメラ背面にある【登録】ボタンを1秒間押すと呼び出しボタン中央のLEDが赤く点滅し、約30秒間登録開始モードになります。

2.登録する
登録開始モードの約30秒以内に屋内モニターの電池ボックス内にある【登録】ボタンを1秒間押すと、ピピピピピと鳴り、登録設定が完了します。

■玄関カメラ



■屋内モニター



展示モードについて

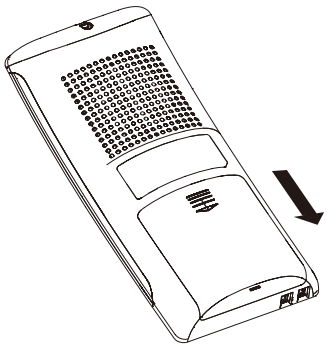
このモードは店頭販売時の展示用に使用しますので、通常は使用しないでください。
展示モードに設定するとマイクが動作しなくなります。

1.【終了】ボタンと【モニター】ボタンを同時に約5秒間押します。
2. ピピピピピと音が鳴り、画面の左上に「DEMO」と表示され展示モードになります。

再度【終了】ボタンと【モニター】ボタンを同時に約5秒間押すと展示モードが解除され、画面左上の「DEMO」表示が消えます。

電池パックを交換する

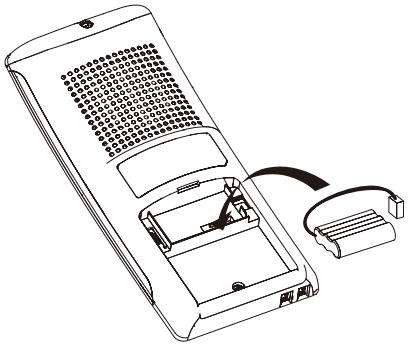
電池パックは消耗品です。約6時間充電しても通話数分後に電池残量表示が
▭になったら新しい電池パックと交換してください。



1) 電池カバーを開ける
2) 古い電池パックを外す
3) 新しい電池パックを入れて、約6時間充電する(⇒18ページ)

※電池パックを交換すると日時･時刻がリセットされます。
　再度設定を行ってください。⇒21ページをご覧ください。
※電池パックを交換しても保存された画像は消去されません。

●別売品　弊社型番「THB-121」をお求めください。
　仕様:ニッケル水素充電池　3.6V 750mAh



古い電池パックはリサイクルへ…

Ni-MH

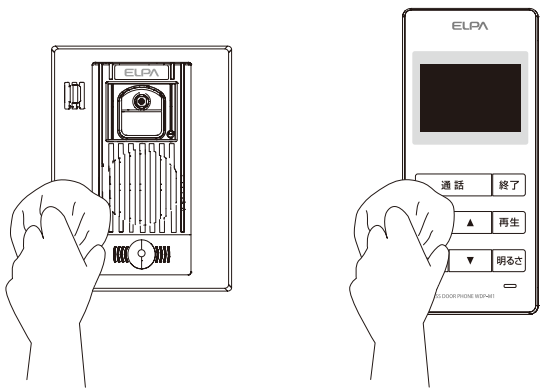
●この製品にはニッケル水素充電池を使用しています。
●ニッケル水素充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際してはショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
●リサイクル協力店のお問い合せは下記へお願いします。
　･製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
　･(社)電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび
　　充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

(社)電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/

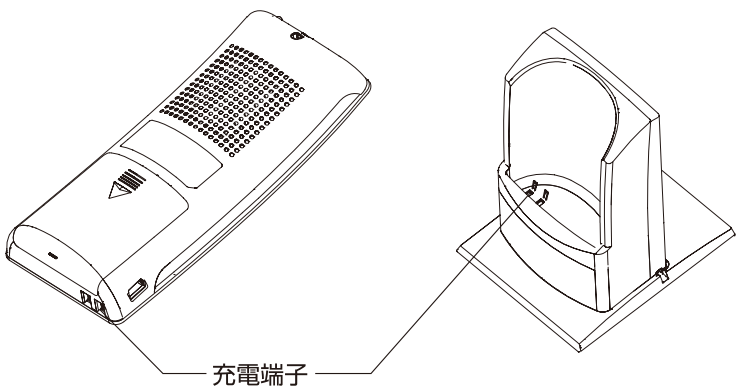
●リサイクル時のお願い
　･電池パックはショートしないようにしてください。火災や感電の原因となります。
　･外装カバー(皮膜･チューブなど)をはがさないでください。
　･電池パックを分解しないでください。

お手入れ

お手入れのときは充電台のACアダプターをコンセントから抜いてください。汚れがひどいときは柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。



充電端子は月に一度、乾いた布でふいてください。
充電端子が汚れていると充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。



お願い

お手入れにアルコール類・磨き粉・粉石けん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などを使用しないでください。
また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどを吹きかけないでください。
(変色、変質の原因になります。)

故障かなと思ったら

症　状	原因と対策
被写体が白黒で映る	玄関カメラの周囲が暗くありませんか? ⇒夜間など、玄関カメラの周囲が暗くなると自動的に白黒映像に切り替わります。(暗視モード)
玄関カメラの映像で人の顔が暗く映る	玄関カメラを逆光になる位置に設置していると人の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 ⇒逆光にならない位置に設置するか、モニター画面の明るさを調節してください。
映像がぼやける 焦点が合わない	玄関カメラのレンズカバーが汚れていませんか? ⇒柔らかい乾いた布でふいてください。
モニター画面の映像が白っぽいまたは、白い筋や輪が表示される	玄関カメラのレンズに太陽光などの強い光が当たっていませんか? ⇒太陽光が直接当たらない位置に設置してください。
画面全体がちらつく	玄関カメラの近くに蛍光灯などの照明がありませんか? ⇒周囲の照明によって画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。
モニター画面の映像が乱れたり音声が途切れる	近くで電子レンジや無線LANなどを使っていませんか? ⇒これらの機器から離して使用してください。
画面が真っ暗で何も映らない	待ち受け中ではありませんか? ⇒画面を表示するには「通話」ボタンを押してください。 電池パックの充電が切れていませんか? ⇒屋内モニターを充電してください。

症　状	原因と対策
雑音(ハウリング)がして 通話できない	玄関カメラと屋内モニターとの距離が近すぎると雑音(ハウリング)が聞こえることがあります。 ⇒ 3m以上離れた場所で通話してください。
玄関カメラからの 呼出音が鳴らない	屋内モニターの充電が切れていませんか? ⇒ 充電してください。
充電台においても 充電ランプが点灯しない	ACアダプターがコンセントまたは充電台から外れていませんか? ⇒ ACアダプターをコンセントまたは充電台にしっかり差し込んでください。 屋内モニターが充電台に正しく置かれていますか? ⇒ 正しく置くと【終了】ボタンが赤く点灯します。 充電端子が汚れていませんか? ⇒ 屋内モニターと充電台両方の充電端子を乾いた布でふいてください。
充電しても数回使うと 充電切れになる	電池パックの寿命です。 ⇒ 新しい電池パックに交換してください。 交換用充電池(弊社型番:THB-121)
正しく操作しても動かない 動作がおかしい	⇒ 動作がおかしいときは電池パックを入れなおしてもう一度操作してください。 それでも改善しない場合はお買い上げの販売店か弊社問い合わせ窓口までご相談ください。
通話できない (音声がでない)	展示モードになっていませんか? ⇒ 屋内モニターの画面に「DEMO」と表示されている場合は展示モードを解除してください。(P27「展示モードについて」)

仕　様

玄関カメラ　WDP-C1

電源	単三形アルカリ乾電池×6本(別売) またはDC6V(充電台より供給)
外形寸法(約) (横幅×高さ×奥行)	98×133×38(mm)
質量	約230g
使用環境条件	周囲温度：−10℃〜+50℃ 湿　　度：90%以下
耐水性能	IPX4/防沫形
取付方法	露出型
最低被写体照度	2ルクス
夜間照明方法	赤外線LED
電池寿命	約6ヶ月 ※1日3回、1回の通話時間が約10秒とした場合で、使用環境温度が21℃の場合

充電台　WDP-B1

電源	DC6V (ACアダプター付属)
消費電力	待受時：約107mW 充電時：約1.7W
外形寸法(約) (横幅×高さ×奥行)	95×141×112(mm) (充電台スタンド使用時)
質量	約140g(充電台スタンド含む)

屋内モニター　WDP-M1

電源	ニッケル水素充電池 (3.6V 750mAh)
外形寸法(約) (横幅×高さ×奥行)	69×156×28(mm)
質量	約180g(電池パック含む)
使用環境条件	周囲温度：0℃〜+40℃ 湿　　度：70%以下
画面表示	2.36型TFT カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	2.4GHz 周波数ホッピング方式
使用時間	連続使用時：約2時間 連続待受時：約120時間 ※約6時間充電(満充電)した状態で、使用環境温度が20℃の場合
充電時間	約6時間
使用可能距離	約100m／見通し距離